

2019年5月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

D.NEWS

Hokkaido Dental Association “Doushikai Tsushin”

後志

SHIRIBESHI

第20回全日本歯科医師スキー大会
第31回北海道歯科医師スキー大会

日時：平成31年3月9日(土)

午前9時から午後12時50分

場所：キロロリゾートスキー場

センターAコース

出席者：[出場選手]黒田準一、中川 徹、岡崎有志、土方敬久、山田一晴、中村 衛、五十嵐 豊、練合実里、五十嵐小百合
[応援団]柏谷良雄、練合哲哉、練合花美、山田真理子 計 13名

今年はキロロリゾート センターAコースを舞台に歯科医師スキー大会が開催された。

当日は朝から快晴、プラス気温である。我が後志チームは選手9名、応援団4名で参加した。30代から50代のおじさん達

6人は鳴かず飛ばずの成績だったが、子どもとお爺ちゃんが頑張ってくれた。

五十嵐小百合 ちゃんは普段クロカン選手として頑張っているがラップタイムレースでも小学生低学年女子の組で2位。ハンディーキャップレース一般の組は優勝とアルペンでもデキる子である。

黒田準一 選手はセンターAコースの泣き所、スタート直後の緩斜面と向い風対策でレーシングスーツデビュー満70歳以上の男子E組で優勝、しかもラップタイムレースで後志のポイントゲッター上位三人のうちの一人となった。やったね、黒田先生。

転倒やケガ人もなく皆無事にゴールし大会終了。

その後、キロロトリビュートポートフォリオホテルにて柏谷良雄 北海道歯科医師スキー連盟会長の挨拶、庄内晃二 北海道歯科医師スキー連盟理事長の開会の辞に



より連盟式典・表彰式・懇親会が行われ参加選手、大会関係者が親睦を深めた。

(山田一晴 記)

●ラップタイムレース各組リザルト

02組 2位 五十嵐小百合

08組 優勝 黒田準一

10組 2位 土方敬久

4位 岡崎有志

6位 中川 徹

13組 5位 中村 衛

9位 山田一晴

11位 練合実里

●ハンディーキャップレースリザルト

会員の組 優勝 中川 徹

一般の組 優勝 五十嵐小百合

●地区別 団体戦

2位 後志

ボウリング部 3月月例会

日時：平成31年3月12日(火)

午後8時から午後9時30分

場所：ファミリーボウル岩内

土方先生の4連覇の阻止を合言葉に挑んだ平成30年度最終戦。

しばらくぶりに私が奮起、優勝を奪還した。新人の島田先生も順位こそ“そこそこ”であったが、技術面での成長著しく、スポンジのように吸収していく柔軟性に脱帽だった。



(伊藤 純 記)

		①	②	③	HDCP
優勝	伊藤	244	229	228	40→22
準優勝	黒田	209	219	180	42→37
1位	伊藤(娘)	199	161	180	62→64
2位	青山	223	195	168	26→25
3位	中村	210	157	164	44→49
4位	井筒	171	171	218	46→46
5位	長澤	211	204	210	30→23
6位	島田	220	210	199	72→61
7位	土方(妻)	183	163	195	52→54
B B	土方	199	189	183	27→28
B M	山田	166	207	168	57→55

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出した。

美唄

BIBAI

平成30年度社保講習会開催

日時：平成31年3月20日(水)

午後6時より

場所：美唄ホテルスエヒロ

平成30年度美歯会社保講習会が開催された。講師は道歯会の井谷秀朗 常務理事に務めていただいた。

はじめに北海道での個別指導の状況からお話しがあり、院内掲示の必要項目、



時間外・休日加算の考え方、疑い病名・歯科疾患管理料の算定要件や算定誤りの多い項目など、在宅医療・検査・リハビリテーション・処置・歯冠修復および欠損補綴について1時間半と短い時間であったが、大変わかりやすい講演であった。

(川上譲治 記)

デンタル・タウンミーティング in 美唄開催

日時：平成31年3月20日(水)

午後7時30分より

場所：美唄ホテルスエヒロ

社保講習会に続いてデンタル・タウンミーティング in 美唄が午後7時30分より開催された。

最初に大西良近 道歯連盟副会長の開会ではじまり、藤田一雄 道歯連盟会長、孫泰一 美歯会会長、小森英世 美歯連盟会長より挨拶があり、来賓として参加した川上美樹 美唄市議会議員から歯科にかかわる市の取り組みについての話があった。美唄市では後期高齢者の口腔健康診査が20歳以上にも行われるようになったことや、小学生の医療費助成について、今議会で検討されていることなど報告があった。

道歯会からは藤田会長より道歯会の課題、中央情勢、社保・国保の点数状況、連盟や歯科国保の情勢や展望など報告があり、次いで高橋雅一 道歯連盟理事長から「オーラルフレイルについて」の講演をしていただいた。



会終了後に、道歯会の先生4名と市議を交えての懇親会が和やかに開催された。(川上譲治 記)

北見

KITAMI

平成30年度北見地域多職種合同研修会

日時：平成31年3月9日(土)

午後1時より

場所：ホテル黒部

標記研修会が行われた。本研修会は、北網保健医療福祉圏域連携推進会議在宅

医療専門部会 北見地域多職種連携チームと北見保健所の共催で開催され、「最後まで自分らしく生きるを支える…」をテーマに医療関係者・介護関係者・行政関係者などの多職種の方々の講演やディスカッションを通じて、患者の自ら望む最後の生き方の実現に向けた支援を考える機会として行われた。

今回の講演・ディスカッションで共通のキーワードであった「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP) 将来の意思決定能

力の低下に備えて、今後の治療・ケア・生活について本人家族など大切な人、そして医療関係者が話し合うプロセスの重要性が理解することができた。

しかし、実際現場で働く医療介護職の方々の話をディスカッションで聞きACP実現の難しいこともわかった。

満員の会場では、日々終末期を迎える患者と向き合っている様々な職種の方々の支援の仕方や悩みなどが活発に意見交換され、この地域の多職種連携が進んで

いることを実感した。(藤井 大 記)



函館

HAKODATE

函館歯科衛生士専門学校 第37回 卒業式

日時：平成31年3月9日(土)

午前10時より

場所：函館国際ホテル

平成30年度の函館歯科衛生士専門学校の卒業式が挙行された。今年の卒業生は33名であった。担任の永橋 茜 先生より名前を呼ばれた者が壇上へ進み、奥 ひろみ 函館歯科衛生士専門学校校長より一人ひとり卒業証書を授与された。続いて、「学校法人 野又学園賞」「函館歯科医師会賞」「北海道歯科衛生士会函館支部賞」「北海道私立専修学校連盟会賞」「函館歯科衛生士専門学校同窓会賞」「皆勤賞」と各々の

者が表彰された。

その後、奥ひろみ 校長が祝辞を述べられ、来賓祝辞として田嶋久士 函館会長が祝辞を述べた。在校生の送辞の後、卒業生からの答辞は、3年間を振り返り様々な場面を思い出しながら、感謝いっぱい

の答辞となり、会場の涙を誘った。その後会場を移動し、家族同席の謝恩会が開催された。岩井祐司 函館会副会長が挨拶をされ、澤谷幸絵 北海道歯科衛生



士会函館支部支部長より乾杯のご発声をいただき、祝宴となった。

途中、お世話になった先生方に花束や記念品の贈呈があり、これもまた「涙」「涙」であった。また、会場内では、各々が先生方に感謝の気持ちを伝え、励ましの言葉をいただいたり、感謝の言葉を述べたりしていた。また、卒業生より入学当時から現在までの学生生活3年間を振り返るスライドショーが行われ、「笑い」と「涙」溢れ



る余興となった。

最後に卒業生を代表として謝辞が述べられ、東 清美 函館歯科衛生士会会長より締め

の乾杯のご発声をいただき、滞りなく終宴となった。3月26日の合格発表では、卒業生33名全員が無事に合格を果たし、晴れて歯科衛生士となった。様々な可能性を秘め、これから社会へ巣立っていく卒業生に幸多き未来を祈り



(向山英明 記)

札幌

SAPPORO

平成30年度第2回学術講演会
日時：平成31年2月2日(土)
午後3時より
場所：札幌会館 大講堂

「I. 患者に満足してもらう保険義歯製作各ステップごとのポイント II. インプラントオーバーデンチャーについて」と題して、元 北海道大学病院 診療教授の野谷健治 先生に講演いただいた。個々のテクニックよりも、まず欠損歯列の病態をしっかりと分析し、その結果を反映した設計を立案し患者に提案することが、最も大切であることを改めて学ぶことができた。上顎のインプラントオーバーデンチャー (IOD) 補綴のポイントについても触れられ、今後もIODに関する情報に対しアンテナを張っておく必要性を感じた。欠損歯列に取り組む姿勢を正していただき、有意義な講演会だった。(鈴木敏人 記)



平成30年救急医療講習会
(コ・デンタルスタッフ対象)
日時：平成31年2月16日(土)
午後3時より
場所：札幌会館 大講堂

スタッフ95名と会員22名が出席し、標記講習会が開催された。諸留副会長より開会の挨拶があり、救急医療委員会の小堀善則 委員より救急蘇生に関する基礎知識の講演があった。その後一次救命処置 (BLS) とバイタルサインのチェックと点滴セットの組み方・静脈路確保の実習を行なった。今回は例年より参加者が増え、スタッフと一緒に参加され連携を深める熱心な会員もおり、最近では医療安全に取り組む医院が増えてきていると感じた。医院では命を救うことはもとより、どんなときに応援を呼び、患者のどのような状態が緊急時と判断することが大事である。実習を終えて、スタッフの皆様には、修了



千歳

CHITOSE

千歯会第85回臨時総会
日時：平成31年3月15日(金)
午後7時より
場所：エニケンビル 3階

千歳歯科医師会第85回臨時総会が開催された。開会に先立ち氏名点呼があり、出席者24名、委任状による出席65名、合計89名で総会が成立する旨が告げられた。
1. 開 会 水戸専務理事
2. 議長選出
議長に檀上 達 先生、副議長に佐竹将玄 先生が選出された。
3. 議事録署名人指名
進藤先生、隅田先生が指名された。
4. 杉江会長挨拶
本日は仕事終わりのお疲れのなか、臨時総会にお集りいただきましてありがとうございます。
日頃より当会の会員にも運営に対してご理解をいただいておりますことを感謝

申し上げます。
会の運営というのは会員の義務でもあり権利でもあると思っております。皆さんの色々な声を挙げていただいて、それに対してご協力をいただいて、それではじめて会が成り立つと思っております。我々の会も100人を超す会となっております。なかなかお互いの顔が見える関係というのはなかなか築きづらいという規模にもなっていますが、当会には丁度同じ規模の千歳、恵庭、北広島の地区の会もありますので是非積極的に参加していただければ会が盛り上がって、ひいてはこの一般社団法人千歳歯科医師会も活性化すると思っていますので改めて宜しくお願い致します。こういう声が本当は出席していない先生に届くといいのですが…。
ということで来年度の事業案、予算案上程させていただいております。平成最後の総会ということできっかりとご協議いただければと思います。本日はよろしく願いいたします。
5. 報告事項
①庶務報告 専務理事 水戸光則
現在会員数は、正会員86名、責任者会

十勝

TOKACHI

平成30年度
十勝歯科医師会BLS&DCLS miniコース
日時：平成31年2月16日(土)
午後2時から午後5時30分
場所：十歯会館 2F 講堂

標記BLS&DCLS miniコースが十歯会主催で帯広にて開催された。13名のインストラクターと26名の受講生が集まり、林 理事の司会進行のもと大滝会長の挨拶で始まった。挨拶の中で「今日参加された方は、自分が研修を受けられる幸せな環境にいることを再認識してこの時間頑張ってください」とエールを送られた。コース内容は、最初にコースディレクターである帯広厚生病院 麻酔科の山本修司 先生に心肺蘇生法の講義いただいた。その後、各ブースによる実技で各インストラクターから胸骨圧迫、人工呼吸、AED、チームで行なうCPR+AEDを教わった。



休憩を挟んで後半は、板橋先生の「歯科治療中に生じる急変とその対応について」の講義、中佐さんからは「救急隊員からのお話」があった。その後、インストラクターらによる吉本新喜劇顔負けの笑いあいの「窒息の解除、BLSのデモ」が行われ、最後に山本修司 先生からの「まとめ・プレテストの解説」で終了となった。終了式では成田副会長から「忘れないように繰り返し受講することが大事です。また来年会いましょう!」という言葉で閉会となった。
3時間半という長丁場で皆さんお疲れだったと思うが、最後までやり終えた満足感で参加者は楽しそうに帰って行った。(竹重和郎 記)

囲碁・将棋部会宿
日時：平成31年2月23日(土)
午後6時30分より
場所：ふく井ホテル
1年に1回の、部員の皆が楽しみにしている標記合宿が行われた。

午後5時過ぎから対局が始まり、その後、会場を移し、森政成 部長の発声で懇親会がスタート。再度会場を移し、



証と各医院に備えていただきたく大変わかりやすく内容がかかれたガイドライン2015対応の応急手当講習テキストを配布した。(尾崎純一 記)
平成30年度第2回学校歯科研修会
日時：平成31年2月23日(土)
午後3時より
場所：札幌会館 大講堂
講師に北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系保健衛生学分野 千葉逸朗 教授をお迎えし「子どもたちの健康は大人が守る～健康格差を打破するには?～」と題して講演が行われた。会員のほかに、スタッフ、学校関係者(校長、養護教諭)など計51名が参加された。
8020推進条例の制定に伴って全道各地でフッ化物洗口が広がっている。フッ化物洗口は永久歯のむし歯予防に効果的で、とりわけ集団におけるフッ化物洗口は誰でも等しく受けることができるため健康格差の解消にも利点がある。学校におけるフッ化物洗口にはまだ解決すべき問題点が残されている。それは①歯科医師や行政などフッ化物洗口を「させる」側の問題と、②学校、家庭などフッ化物洗口を「する」側の問題である。
「させる」側の問題点として、歯科医師の及び腰や知識不足、歯科医師と行政、

員2名、終身会員13名、家族会員3名、勤務会員2名、計106名
②道歯会第225回臨時代議員会報告 代議員 内海 治
③道歯国保第76回臨時組合会 組合会議員 中島康晴
④会計現況報告 会計理事 小西美貝
詳細は総会資料を参照。
⑤その他 映画『笑顔の向こうに』は日本歯科医師会が製作したもので、好評につき再上映も決まった(上映終了済)。
6. 議決事項
第1号議案 平成31(2019)年度入会金及び会費に関する件
第2号議案 平成31(2019)年度事業計画案に関する件
第3号議案 平成31(2019)年度一般会計予算案に関する件
各担当理事より説明があり、挙手にて賛成多数で承認された。
第4号議案 会長予備選挙に関する件
選挙管理委員より今回の会長予備選挙に関する説明があり、一般社団法人千歳歯科医師会会長予備選挙についての報告があった。

白熱した対局が再開された。団体戦は深夜近くまで続き、無事対局終了。記念写真を撮影し、お開きとなった。(菱沼直弘 記)
糖尿病と歯周病に係わる医科歯科連携講演会
日時：平成31年3月2日(土)
午後4時より
場所：十歯会館 2F 講堂
演題：歯周病調査の現状と糖尿病治療の現状
講師：横山宏樹 先生
(自由が丘横山内科クリニック)
学術部主催による標記講演会が開催された。今回は講師として自由が丘横山内科クリニックの横山宏樹 先生をお招きして、十歯会も協力して行われた糖尿病と歯周病に係わる研究結果の報告と糖尿病治療の現状について講演いただいた。



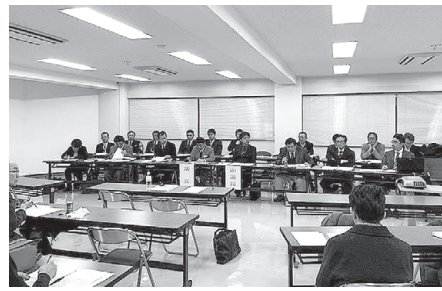
糖尿病のほか高血圧症や高脂血症、また、内皮機能障害も歯みがきと関連性があるということや、尿アルブミン、CRP、喫煙などは歯周病評価項目と有意な関連を認めることから、これらの因子はⅡ型糖尿病において心血管疾患予防のために重要であると示唆された。当日は歯科医

学校関係者とのコミュニケーション不足、歯科健診データの正確性などが挙げられる。「する」側の問題点としては、知識がないことによる「恐怖」、予防に対する意識の不足、とにかく「反対ありき」であることなどがある。それぞれの問題点に対して論文や研究データを交えて解説いただき、また、フッ化物洗口に対するQ&Aについても説明いただいた。
質疑応答では参加者の養護教諭からフッ化物に対する安全性への不安が寄せられたが、データに基づいた安全性を丁寧に回答された。
本研修会は昨年9月の北海道胆振東部地震のために延期されて開催された。奇しくも今回は直前に地震が発生したが、無事に開催することができて安堵した。研修会の「中止」ではなく「延期」とご自身から決断いただいた千葉先生にこの場をお借りして感謝申し上げます。(堀 稔 記)



7. 協議事項 特になし。
8. そ の 他 特になし。
9. 閉 会 内海副会長
週末の忙しいなか、平成最後の総会に出席していただきありがとうございます。次期会長は杉江会長となり6月に承認されるが、会長は本当に大変です。会長に接しているとどうしたら会員のために役に立つか常に考えていると感じる。どこかの知事と違い、会員ファーストで考えておられる。そのことをご理解して今後とも会長へのご協力お願いしたい。

引き続き千歳歯科医師連盟の総会が行われ、千歳支部会計決算の報告があった。(山本孝之 記)



師やスタッフなど多数の参加者が聴講され、講演終了後には活発な質疑応答が交わされた。(南館直人 記)

平成31年度 十勝歯科医師会野球部総会
日時：平成31年3月27日(水)
午後7時45分より
場所：はげ天
標記野球部総会が開催された。大滝会長の「今年は優勝したら福岡に行けます。怪我のないよう皆さん頑張りましょう!」の挨拶に始まり、河合篤史 部長が「春の甲子園がシーズンスタートの合図、北海道大会は“野球の聖地”円山球場です。必ず勝って美味しいお酒を飲みましょう!」と宣言。それを受け、加藤謙一 先生による「怪我なく目標へ向けて頑張ろう!」の乾杯で総会がスタート。



ここ数年の部員数の減少、チームの高齢化などの悩ましい問題もあるが、今シーズンに対する意気込みを部員同士、熱く語り合い総会は大いに盛り上がった。
最後に有田修造 先生より「まず、怪我をしないように、そして野球を楽しみましょう!」の言葉で総会が締めくくられ、札幌大会での活躍を強く胸に誓った十勝野球部員一同であった。(板橋基雅 記)

室蘭

MURORAN

平成30年度 第117回臨時総会

日時：平成31年3月16日(土)
午後2時より

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

上記日時場所で第117回臨時総会が執り行われた。新田専務理事の司会、飯淵副会長の開会の辞で総会が始められた。総会に先立って、2月にお亡くなりになられた当会会員の前田迪夫 先生に黙祷が捧げられた。

仲川会長は挨拶で、「皆様、ご出席いただきありがとうございます。現執行部も約2年近く経ちました。皆様にはいつもご協力いただきありがとうございます」と述べた後、道歯会の元事務職員の横領の問題についての現況の説明、室歯会管

内の医療連携の
スワンネットに
ついで的重要性
と入っていない
先生方への登録
のお願い、また
外来の患者数が
年々減少し、そ
れに伴って逆に
訪問診療の患者
数はどんどん増
えてきているこ
と、今後訪問診
療に取り組んで
いかななくては
ならないという
こと、室歯会に
おいても今後は
在宅診療でフレ
イル対策ができ
るような歯科医
を育てていく、
そういう講習会
を増やしていく
ことを考えてい
かなければなら
ないことなどを
話された。

議長に有路博彦 先生、副議長に堅田



裕 先生、議事録署名人に工藤逸朗 先生、斎藤豪紀 先生の2名が選出された。
報告事項として、会務報告が新田専務理事から、事業報告が各理事から報告された。道歯会代議員会報告は多田和央 代議員、道歯会会長会議報告は仲川会長より報告があった。また、道歯国保組合報告は室蘭支部長の川本康裕 先生が欠席だったため飯淵副会長から報告があった。
平成30年度一般会計現況報告が宮武会計担当理事からあり、監査報告が本田 健 監事より会計について公正妥当との報告があった。
地区運営報告として、室蘭地区は小野 瀬憲人 先生、登別地区は日置 圭 先生、伊達胆振西部地区は黒田英一郎 先生から報告があった。
議決事項はすべて満場一致で議決され、スムーズな議事進行であった。
塚田副会長の閉会挨拶で第117回臨時総会を終えた。

(畠山雄一 記)

野球部総会

日時：平成31年3月16日(金)
午後4時より

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

室歯会野球部の総会が開かれた。今年の第70回北海道歯科医師野球大会の日程などの詳細が報告され、本登録や宿泊場所の確保などについても報告があった。また、昨年度の野球部の決算が報告され承認された。

協議事項として、札幌大会にはぜひ2チームでの出場を目指して部員や新たに参加してくれそうな会員への声掛けを行なうよう話し合われた。今年の大会へ向けての練習だが、年々練習場の確保が難しくなっており、なんとか確保すべく話し合われた。昨年の大会よりさらなる成績を残せるよう、総会に参加した先生方からは意気込みが感じられた。

(畠山雄一 記)



日高

HIDAKA

平成30年度臨時総会

日時：平成31年3月16日(土)
午後1時から午後1時40分

場所：ホテルローレル
出席会員数：32名(出席19名、委任状による出席13名、欠席1名)
中本専務理事が開会を宣言し、議長の選任、西川会長の挨拶と進み、以下の議決事項が承認され、閉会となった。
議題：
第1号議案 代表理事候補者選挙に関

する件
第2号議案 北海道歯科医師会代議員選挙に関する件
第3号議案 北海道歯科医師会予備代議員選挙に関する件
第4号議案 一般社団法人日高歯科医師会定款変更に関する件
(原田史也 記)

苫小牧

TOMAKOMAI

苫小牧市・苫歯会連絡協議会

日時：平成31年1月30日(水)
午後7時より

場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室2



新年度へ向けて苫小牧市と苫歯会との協議の場がもたれた。苫小牧市による後援、共催の事業として今年度も例年同様に行われる「歯っぴいフェスタ」および「健康フェスタとまこまい」の日程・会場について、赤ちゃん教室と親子デンタル教室、8020表彰式、苫小牧市歯周病検診、後期高齢者歯科健康診査、フッ化物洗口事業の実績と課題、地域包

括ケアシステムと在宅歯科医療について議題となった。昨年度の実績報告、今後の事業見通し、次年度以降に反映したい改善点など事業ごとに検討が行われた。
(杉村佳美 記)

歯周病と糖尿病に関わる研修会

日時：平成31年2月22日(金)
午後7時より

場所：苫小牧市医師会 3階 講堂

標記道歯会主催の研修会が「合併症予防を考慮した糖尿病診療のトレンド」という演題で札幌医科大学 保健医療学部看護学科 齋藤重幸 教授により、「QOLを維持するための糖尿病治療とは？ー歯周病専門医の立場からー」という演題で、北海道大学病院 高次口腔医療センター 根



岸 淳 准教授により、講演いただき開催された。
糖尿病と歯周病との関係が明らかとなっており、歯科医師として糖尿病に関する知識を最低限持ち合わせる必要が生じている。また、患者が所有する糖尿病手帳には、かかりつけ歯科医としての検査結果、所見を記載する欄も掲載されている。今後の高齢社会では基礎疾患として糖尿病を有する患者が増加することが予想されるため、糖尿病に関する知識をアップデートする良い機会となったと思う。
(杉村佳美 記)
北海道障がい者歯科医療協力医：更新のための研修会
日時：平成31年2月23日(土)
午後7時より
場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室2
北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能



学分野 小児・障害者歯科学教室 八若保孝教授をお迎えして「障がい児・者の行動調整」という演題で標記研修会が開催された。

障がい児・者の歯科治療においては、障がいの程度や経験、環境を考慮して、個々に合った方法で対応する必要があるとして、具体的な例を挙げて講演いただいた。歯科治療の可否判断には、洋服を着ることができるか、ボタンをはめることができるかといった日常生活における行動も判断基準の一つになるとのこと。また、できたらすぐに褒める、抑制治療の利点欠点、Tell Show Do法を基本として考える、母親への説明方法などを紹介していただいた。
実際の臨床に則した講演であり、参加者は熱心に耳を傾けていた。
(杉村佳美 記)



釧路

KUSHIRO

歯・口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会

日時：平成31年3月9日(土)
午後3時より

場所：釧歯会館 大講堂



本講演に先立ち、岡田実継 釧歯会専務理事より後期高齢者歯科健康診査事業に関する説明があった。
講演は北海道医療大学 歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野 越野 寿 教授を講師にお招きし『超高齢社会における歯科医療 - 歯科としての在宅療養支援 - 』の演題で、社会的に注目されているフレイル(虚弱)についての説明とフレイル予防としてのオーラルフレイルの考え方を解説いただいた。
また、要介護高齢者の日常生活における関心事(施設で楽しいこと)について、いずれの施設においても食事が第1位で

あったとの報告がされており、高齢者のQOLの向上の観点からも口腔機能を向上させることが重要であると力説していた。
(栗野俊哉 記)

第20回全日本歯科医師スキー大会

第31回北海道歯科医師スキー大会

日時：平成31年3月9日(土)

場所：キロロスノーワールドスキー場

キロロスノーワールドスキー場で第20回全日本歯科医師スキー大会、兼、第31回北海道歯科医師スキー大会が行われた。
当日は、4月かGWのような温かさで、雪が緩んでスキーが走らないコンディション。
釧路からは、大久保恒康 先生と伊勢 明の2名が参加した。
毎年、優勝争いをする混戦を抜け出して優勝したのは、大久保先生だった。ここ数年、転倒やケガなどのアクシデントを振り払って、1本目にスーパーランを見せてくれた。大久保先生が、1本目ラップ、2本



目2位でトータル1位。伊勢が1本目2位、2本目3位でトータル2位。釧路勢がワン・ツーフイニッシュを飾った。
夜はキロロトリビュートポートフォリオホテルで、連盟式典、懇親会、表彰式が行われ、そこで、優勝カップが、昨年優勝の釧路勢の伊勢から釧路勢の大久保先生へ渡った。
釧路・根室でスキーをする先生、ぜひ大会へ参加してください。地区別団体戦でも釧路が優勝できるかもしれませんよ。
来年は3月14日(土)、ニセコヒラフスキー場で行われる予定です。
(伊勢 明 記)
第37回全日本歯科医師アイスホッケー大会(苫小牧大会)
日時：平成31年3月15日(金)・16日(土)
場所：ダイナックス 沼ノ端アイスアリーナ
平成最後の全日本歯科医師アイスホッケー大会が第37回大会として、苫小牧デンチャーズの主管で沼ノ端アイスアリーナにて開催された。
我が釧路歯科医師会アイスホッケー部 ノースフォックスは一昨年来の不参加もあり、大変楽しみにしていた。

大会は2日で3試合行なった。
15日の第1試合は強豪、近畿デンタルロッキーズに2-5で敗れたが、久しぶりの大会を大いに楽しんだ。
その夜は次の対戦相手であり、親交の深い三沢バックストーンズと合同で親睦会を行なった。
そして、その場にて、16日の試合の勝ち負けにかかわらず、第3試合は合同で「プレーしましょう」と話しが盛り上がり、主幹の許可をいただき、2日目の試合に臨んだ。
16日の結果は、対三沢バックストーンズに6-4、対デンタル毘沙門に8-9と、1日2試合のスケジュールを老体に鞭打って戦い、結果は4位となった。夜は懇親会で大変盛り上がり、大会は幕を閉じた。
(富本幹弘 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

医師会親睦会
日時：平成31年2月1日(金)から
3月1日(金)

岩見沢医師会は親睦会として、2月1日に麻雀大会、2月15日に囲碁大会、3月1日にボウリング大会を開催した。ここ数年は人数集めのため歯科医師会にもお誘いがきているが、開始時刻が早いことと、他の行



事と日程が重なるなどで、今年は特に各大会とも少人数になってしまったようだ。

麻雀大会に至ってはちょうど4名しか参加者が集まらず、同じメンバーで3回戦を戦うことになった。そんななか、当会から唯一出場した高橋博寿 先生が逆転で2連覇を果たして豪華賞品を手にしたことは非常に喜ばしい。

来年は3連覇を目指すことになるが、果たして大会が無事に行われるかが心配だ。(久恒泰宏 記)

平成30年度 岩歯臨時総会
日時：平成31年3月22日(金)
午後7時から午後8時10分
場所：岩見沢平安閣

久恒専務理事の開会宣言、山口理事による氏名点呼の後、旗手一永 先生が議長、仲屋俊夫 先生が副議長に選出された。倉増会長から今期を持ち会長を退くが、本臨時総会は新しい会長を決める総会、また、終身会員年齢引き上げに関する件、次年度事業計画、予算案等を議決事項として上程しており慎重審議のほどをよろしく願いたい。との挨拶があった。

報告事項及び第1号議案から第4号議案、協議事項等の上程された議案は全て承認・可決された。その中で第4号議案の次期会長候補者に関する件では、川野正裕 選挙管理委員長より、本年2月28日の会長候補者選挙の公示から14日午後5時の締

め切りまで、一般社団法人岩歯会代表理事者(会長候補)の届出は谷本圭太 先生の推薦候補者推薦のみ、かつ選挙管理委員会で推薦書類関係書類等を精査したところ、特に不備はなく、本会選挙規則第22条を持って当選者となった。との会長候補者選挙の経過報告があった。

引き続き仲屋副議長の下で行われた、平成30年度岩歯連盟臨時総会も上程された案件は全て可決承認され、午後8時31分をもって平成最後の総会は閉会した。(木村 悟 記)



旭川

ASAHIKAWA

空知

SORACHI

小樽

OTARU

留萌

RUMOI